

「低炭素社会の実現に向けて」

～プラスチック系廃棄物の利活用～

ごみ処理あるいは産業廃棄物処理においては、「適正処理」に加えて「低炭素社会実現」への具体的な取り組みが求められています。三回目になります今回のシンポジウムでは、低炭素社会実現のために不可欠な「プラスチック系廃棄物の利活用」に関する最新の行政施策や技術を紹介することを目的に開催します。環境省の進める熱回収施設認定制度についての施策の解説、廃棄物の熱回収効率の向上技術と動向、プラスチック系廃棄物のリサイクルや熱回収処理のコストや炭酸ガス排出量についての LCA 評価、国内におけるプラスチック系廃棄物の処理・リサイクルの先進事例などを紹介します。

最後に講師の方々を交えて、これからの低炭素社会の実現に向けた取り組みについて議論したいと思います。

プログラム

1. 開会の挨拶 鳥取環境大学 学長 古澤 巖
2. 基調講演「低炭素社会の実現に向けて」
鳥取環境大学サステナビリティ研究所 所長 田中 勝
3. 政策解説「高効率発電の推進や熱回収率の向上に向けて」
環境省廃棄物リサイクル対策部 廃棄物対策課長 徳田博保
4. 技術解説「廃棄物の熱回収向上技術と方策」
(社)日本環境衛生施設工業会技術委員会 角田 芳忠/薄木徹也
5. 技術解説「LCA からみたプラスチックリサイクル」
(社)プラスチック処理促進協会 技術開発部 部長 西原 一
6. 技術解説「国内のプラスチック系廃棄物の処理・リサイクルの先進事例」
(財)日本環境衛生センター西日本支局 環境工学部 部長 岩永 宏平
7. パネルディスカッション「プラスチック系廃棄物の利活用の今後」
座長：田中 勝、パネラー：上記講演者

11/29
大阪会場

日 時：平成 22 年 11 月 29 日（月）13：30～16：30
場 所：経営支援プラザ UMEDA（大阪駅前第 3 ビル 19 階）
（JR 大阪駅から徒歩 5 分／阪急梅田駅から徒歩 5 分）
定 員：100 名（定員になり次第締め切ります）
参加費：会 員 ￥5,000（協賛団体、協力団体の会員）
非 会 員 ￥10,000
自治体職員 ￥5,000
学 生 ￥3,000

日 時：平成 22 年 11 月 30 日（火）13：30～16：30
場 所：総評会館 2F 204 会議室
（JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口より徒歩 5 分）
定 員：100 名（定員になり次第締め切ります）
参加費：会 員 ￥5,000（協賛団体、協力団体の会員）
非 会 員 ￥10,000
自治体職員 ￥5,000
学 生 ￥3,000

11/30
東京会場

※ 両会場とも、参加費は事前のお申し込みとお振り込みをお願いいたします。